



報道機関 各位

記者発表資料
平成30年12月3日(月)
スポーツ文化局
文化部 文化振興課
課長:須田 担当:鈴木
電話:829-1227 内線:2813
【お問い合わせ】
担当:さいたま市 プラザノース 事業課
木村・安藤
電話:653-9255
FAX:653-9288

さいたま市 プラザノース 企画事業
ノース・ティータイム・コンサート vol.15
「島田彩乃 ピアノ・リサイタル」
を開催します

1. 公演案内

このたびプラザノースでは、「ノース・ティータイム・コンサート vol.15 『島田彩乃 ピアノ・リサイタル』」を開催いたします。

コンサートといえば、休日や平日の夜に開催されることが多いもの。しかし、その時間には外出できない、また自分の余暇に多くの費用や時間を費やせない方も多くいらっしゃいます。そんな方々にほんのひと時、音楽を楽しんでいただきたいと企画したのが「ノース・ティータイム・コンサート」です。

今回で 15 回目を迎える「ノース・ティータイム・コンサート」は、国内外の数々のコンクールで優勝・入賞経験をもつ注目のピアニスト、島田彩乃の演奏をお話付きでお楽しみいただきます。この機会にクラシックに初めて触れる方も含めて、ワンコインで本格的な演奏をお楽しみいただきたいと思えます。

つきましては、貴媒体にてお取り上げいただき、開催の周知にご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2. 公演概要

- (1) 公演名 : ノース・ティータイム・コンサート vol.15
「島田彩乃 ピアノ・リサイタル」
- (2) 日 時 : 平成 31 年 1 月 18 日(金) 13:30 開演(13:00 開場) *公演時間約 45 分
- (3) 会 場 : さいたま市 プラザノース ホール
〒331-0812 さいたま市北区宮原町 1-852-1
- (4) 入場料 : 全席自由 500 円
*小銭をご用意のうえ、当日入場口でお支払いください。
- (5) 定 員 : 370名
*未就学児童の入場はお断りします。
*先着順のため、ご入場いただけない場合があります。

- (6) 曲 目 : ・バッハ:インベンション 第1番 ハ長調 BWV 772
・メンデルスゾーン:ロンド・カプリチオーソ Op.14
・シューマン:トロイメライ
・バッハ=ブラームス:シャコンヌ(左手のための)
・ブラームス:間奏曲 イ長調 Op.118-2
・バッハ:平均律 第1巻より 第1番 ハ長調 BWV 846 プレリユード
※曲目は変更になる場合があります。
- (7) 出演者 : 島田彩乃(ピアノ)

島田彩乃(ピアノ)

桐朋女子高等学校音楽科を首席で卒業。パリ国立高等音楽院、同研究課程、エコールノルマル音楽院修了。その後、文化庁海外留学制度研修員としてライプツィヒ音楽大学にて研鑽を積む。これまで、全日本学生音楽コンクール、ジャン・フランセ国際音楽コンクール、シドニー国際ピアノ・コンクールをはじめ、国内外数々のコンクールにて優勝、入賞。パリ在住時より、フランスおよびヨーロッパ各国、日本、また南アフリカ、チュニジアにおいてもフェスティバルにたびたび招かれ、パリ・サル・コルトー、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス、フィレンツェ・ヴェッキオ宮殿等々内外にて演奏活動を行うほか、シドニー交響楽団、ヨハネスブルグ交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、九州交響楽団等オーケストラとの共演、TV・ラジオ出演など、多岐に亘った活動を活発に行う。CD『ドビュッシー／デュティユー／ラヴェル』をリリース。作曲家デュティユー氏本人から賛辞が贈られたほか、各誌にて高い評価を得る。これまで、故福岡幸子、須田眞美子、ジャン＝フランソワ・エッセール、アキレス・デル＝ヴィーニュ、ジャン＝クロード・ペヌティエ、ゲラルト・ファウツの各氏に師事。また、作品解釈および演奏表現において西巻正史氏のアドバイスを受ける。十余年に及ぶ欧州活動の後、2011年帰国。ソロのみならず室内楽にも精力的に取り組み演奏活動を行い、カール＝ハインツ・シュッツ(ウィーン・フィル首席フルート奏者)、ラモン・オルテガ・ケロ(バイエルン放送響首席オーボエ奏者)、アラン・ムニエ(元パリ国立高等音楽院チェロ教授)、林峰男、木越洋(以上チェリスト)等、国内外のアーティストと共演、厚い信頼を得ている。同時に、上野学園大学講師、コンクール審査など後進の指導にも力を注いでいる。現在も毎夏欧州のフェスティバルに招かれ、リサイタル出演、マスタークラス講師等、海外でも継続して活動を展開している。

3. その他

- ◇公演を取材いただける場合は、事前にプラザノース事業課担当者までご連絡ください。
- ◇詳細は添付の公演チラシをご覧ください。
- ◇当事業は beyond2020 プログラム(2020年以降を見据え、日本の強みである地域性豊かで多様性に富んだ文化を活かし、成熟社会にふさわしい次世代に誇れるレガシーの創出に資する文化プログラム)として認証されています。